

平成 30 年度事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

【主要項目】

- I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供
- II. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定
- III. コンテスト事業
- IV. 就業支援のための情報提供事業
- V. その他商業施設技術に関連する事業

【主要な事業】

I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供

1. 技術教書の刊行事業

平成 29 年 7 月に発刊した、本会発刊の基本教書（技術教書）である「商業施設・創造とデザイン」は、主に、商業施設士資格試験・学科試験の参考書として、また、商業施設士補資格講習会の講義テキストとして活用・使用されている。本年度は増刷を行い適宜対応した。

2. 情報誌の刊行事業

商業施設及び商業施設技術に関する内容構成とし、商業施設士資格者をはじめ各方面の関係機関にも頒布している、情報誌・機関誌「商業施設」を、年間 6 回（偶数月 5 日発刊／4 月号・6 月号・8 月号・10 月号・12 月号・2 月号）刊行した。

→ P8. に主要項目の一部である「特集 1」「特集 2」「波～デザイン思考」などの目次内容を記載。

3. インターネットによる情報提供事業

本会ホームページを活用して、資格試験案内（願書の無料ダウンロード）や書籍案内、学生デザインコンペ関連などの情報提供を行った。

また、担当委員会において、ホームページの活用の利便性を考慮し、内容構成の軽微な改訂を行うとともに、次期、大幅改訂について検討を重ねた。

4. 機関協力事業

東京都港区“店舗改装を支援するための専門アドバイザー（商業施設士）派遣事業制度”に基づく商業施設士派遣要請を受け、日本商業施設士会と協働のうえ、推薦・派遣を行った。

また、内外機関へのさまざまな協力体制のアピールとして、本年度はブランディング委員会を設置し、本会及び商業施設士のブランディングについても検討・協議を行った。

5. 研究及び提言事業

研究及び提言については、機関誌「商業施設」を通じて、みせづくり・まちづくりの各種情報等を発信した。

また、本会が1975年に「商業施設技術体系」と称し、商業施設の技術（みせづくりの技術）を体系化し、書籍・出版した同書の内容について、近年の商業施設に対する大幅な環境変化に伴い再検討の必要性を鑑み、検討を行った。

II. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定

1. 資格認定事業

(1) 商業施設士資格試験の実施

本年度の商業施設士資格試験を以下の内容等により実施した。

前期・実施日：平成30年6月17日

同・実施地：7都市10会場

後期・実施日：平成30年12月16日

同・実施地：3都市4会場

受験者数計：439名

合格者数計：384名

合否発表：平成30年7月17日〔前期〕及び平成31年1月22日〔後期〕

→ P9. に各会場別受験者数等を記載。

2. 資格登録事業

資格試験合格者の資格登録事務及び有資格者の資格登録更新事務をそれぞれ行った。

なお、資格登録更新者のうち、「シニア商業施設士」対象者においてはその通知と登録事

務を、また「マイスター商業施設士」認定者においてもその登録事務をそれぞれ行った。

3. 士補資格認定事業

商業施設に関連する、建築系・インテリア系・デザイン系等の教育機関を対象とした、「商業施設士(補)資格制度に係る商業施設関連課程の認定校制度(=「認定校制度」)」において、その認定校の指定された商業施設関連課程を履修した学生を対象として商業施設士補資格認定のための講習会を全国各地で実施した。エリア開催：21会場。学校単独開催：13(校)会場。認定者：1444名。

→ P9. に各会場、受講・認定者数を記載。

4. 教育・支援事業

商業施設士(補)資格制度に係る認定校制度をもとに、商業施設技術に関する教育内容を指南するとともに、同認定校の拡大拡充を図った。なお、現在の認定校計は170校230課程である。

また、教育・支援の一環として、学業成績、就学態度ともに優秀な者に対して、本会会長賞の贈呈を行った。71校・80名。

5. 研修会事業

(1) 「みせ・商い」塾／A. 一般コース

夏季：平成30年8月1・2日 東京(パナソニック)

冬季：平成31年2月1・2日 東京(大光電機)

(2) 「みせ・商い」塾／E. プロコース

①公開セミナー及び新商業施設士ウエルカムパーティ～

平成30年8月23日 東京(建築会館ギャラリー)

②公開セミナー

平成31年2月27日 東京(建築会館ギャラリー)

(3) 資格試験講座(エリア開催)

①設計製図講座

平成30年5月26日 札幌(道特会館)

平成30年5月26日 東京(建築会館)

平成30年5月27日 大阪(大阪府社会福社会館)

②学科講座

平成30年6月2日 大阪(大阪府社会福社会館)

平成30年6月3日 東京(建築会館)

(4) 資格試験講座(認定校開催)

①関東圏・16校、②東海圏・5校、③関西圏・2校

(5)「みせ・商い」塾／C.プロ養成コース

プロ養成コースの実施に向けた検討を、大阪ディスプレイ協同組合と協議を行った。なお、実施は次年度の予定。

Ⅲ. コンテスト事業

毎年開催をし、商業施設技術者の教育と商業施設技術の向上を目的とした、第16回主張する「みせ」学生デザインコンペを実施した。

応募作品の形式：「A1サイズスチレンボード」に、あなたが思う“主張する「みせ」”を表現し、主旨書（コンセプト）を添付

応募期間：平成30年11月1日～11月30日（告知：平成30年7月）

応募作品数：473点

審査発表：平成30年12月22日（審査：12月6日・7日）

受賞：最優秀賞1点、優秀賞5点、入賞10点、奨励賞43点

表彰式：平成31年1月25日（建築会館ギャラリー）

展示：平成31年1月24～28日（建築会館ギャラリーにて、入賞作品展示）

→ P10. 巻末に上位受賞者一覧、その他概要を記載。

Ⅳ. 就業支援のための情報提供事業

1. 会社情報提供事業

認定校をはじめとする全国の大学等の教育機関へ、商業施設関連業界の会社情報（求人情報を含む）の発信のための内容を協議し関係機関への協力を要請した。

2. インターンシップ促進事業

上記、会社情報提供事業とともに、商業施設関連業界のインターンシップ情報の提供の検討を行った。

Ⅴ. その他商業施設技術に関連する事業

会員・関係機関が主催するイベント事業に対し、それぞれ後援及び協賛を行った。

① 昭和フロント㈱主催

「第49回 ストアフロントコンクール」を協賛

② ㈱LIXIL主催

「LIXILフロントコンテスト2018」を協賛

③ 国土交通省主催

「第30回 まちづくり月間」を協賛

- ④ 国土交通省主催
「平成 30 年度 住宅月間」を協賛
- ⑤ (公社)日本サインデザイン協会主催
「第 52 回 日本サインデザイン賞」を後援
- ⑥ (公社)日本インテリアデザイナー協会主催
「J I D 創立 60 周年記念事業」を後援
- ⑦ (一社)日本商環境デザイン協会主催
「J C D 連続デザインシンポジウム」を後援
- ⑧ (一社)関西インテリアプランナー協会主催
「K I P A 第 2 回デザインコンペティション 2018」を後援
- ⑨ (一社)関西インテリアプランナー協会他主催
「メゾン・エ・オブジェ 2018 パリ 日本のかたち展・帰国展」を後援
- ⑩ (公社)日本インテリアデザイナー協会他主催
「World Interiors Week 2018」を後援
- ⑪ I D M 実行委員会主催
「I D M TOKYO 2018」を後援
- ⑫ 日本経済新聞社主催
「J A P A N S H O P 2019」を後援
- ⑬ 日本経済新聞社主催
「フランチャイズ・ショー2019」を後援
- ⑭ (一社)日本ショッピングセンター協会主催
「第 43 回日本ショッピングセンター全国大会」を協賛
- ⑮ (一社)日本照明工業会他主催
「ライティング・フェア 2019」を協賛
- ⑯ (一社)日本能率協会他主催
「第 47 回国際ホテル・レストラン・ショー」を協賛

付 記

平成 30 年度理事会開催状況

- 第 1 回：平成 30 年 5 月 10 日／建築会館
平成 29 年度事業報告書(案)・同収支計算書(案)、および社員総会の開催について
- 第 2 回：平成 30 年 8 月 9 日／建築会館
平成 30 年度事業について、および代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について
- 第 3 回：平成 30 年 10 月 25 日／建築会館
平成 30 年度中間事業報告・同中間収支計算、および同下期事業計画等、ならびに代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について
- 第 4 回：平成 31 年 1 月 30 日／建築会館
代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について
- 第 5 回：平成 31 年 3 月 14 日／建築会館
平成 30 年度事業報告・同収支計算、平成 31 年度事業計画・同収支予算等、および次期役員改選、ならびに代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

■商業施設士 資格試験

〔前期〕

札幌 (道特会館)	3 名
仙台 (みやぎ婦人会館)	10 名
東京 (筑波大学東京キャンパス／東京家政学院大学／ 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校)	293 名
名古屋 (名古屋企業福祉会館)	35 名
大阪 (大阪府社会福祉会館)	28 名
広島 (広島デザインセンター)	1 名
福岡 (リファレンス 駅東ビル)	4 名

〔後期〕

東京 (全国家電会館／東京都市大学)	57 名
大阪 (大阪府社会福祉会館)	4 名
名古屋 (名古屋企業福祉会館)	4 名
合計	439 名

■商業施設士補 資格講習会

平成 30 年	5 月 6 日	東京 (実践女子大学)	36 名
	9 月 20 日	大阪 (修成建設専門学校)	40 名
	10 月 20 日	名古屋 (名古屋企業福祉会館)	64 名
	10 月 21 日	東京 (全国家電会館)	114 名
	10 月 21 日	東京 (ICS カレッジオブアーツ)	42 名
	10 月 27 日	東京 (全国家電会館)	70 名
	10 月 28 日	仙台 (みやぎ婦人会館)	89 名
	10 月 28 日	大阪 (大阪府社会福祉会館)	102 名
	11 月 1 日	千葉 (千葉日建工科専門学校)	20 名
	11 月 3 日	東京 (青山製図専門学校)	53 名
	11 月 10 日	東京 (東京都市大学)	53 名
	11 月 16 日	東京 (青山製図専門学校)	23 名
	11 月 24 日	東京 (青山製図専門学校)	42 名
	11 月 24 日	東京 (東京家政学院大学)	13 名
	12 月 1 日	広島 (広島工業大学)	31 名
	12 月 8 日	神奈川 (浅野工学専門学校)	19 名
	12 月 9 日	埼玉 (城西大学)	52 名
平成 31 年	2 月 9 日	前橋 (群馬県民会館)	2 名
	2 月 10 日	東京 (専売ビル)	133 名
	2 月 16 日	東京 (全国家電会館)	110 名
	2 月 16 日	鹿児島 (鹿児島県文化センター)	2 名
	2 月 17 日	熊本 (くまもと森都心プラザ)	4 名
	2 月 17 日	札幌 (道特会館)	27 名
	2 月 23 日	高松 (サンポートホール高松)	6 名
	2 月 23 日	名古屋 (名古屋企業福祉会館)	84 名
	2 月 24 日	金沢 (石川県文教会館)	16 名
	2 月 24 日	福岡 (リファレンス 駅東ビル)	21 名
2 月 25 日	大分 (日本文理大学)	22 名	
2 月 26 日	青森 (八戸工業大学)	6 名	

3月2日	仙台 (みやぎ婦人会館)	35名
3月2日	大阪 (エル・おおさか)	40名
3月3日	広島 (広島オフィスセンター)	15名
3月12日	東京 (日本工学院八王子専門学校)	26名

合計 1444名

■第16回 主張する「みせ」学生デザインコンペ

受賞 (上位賞のみ)

最優秀賞	長島未侑、菅野 夢、鈴木沙歩、福田奈菜	多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科
優秀賞	磯野小梅、吉田奈菜、高橋美玖、広庭伸樹	千葉大学大学院 融合理工学府地球環境科学専攻 都市環境システムコース
	小副川玲奈、植木嘉一	千葉大学大学院 工学研究科 都市環境システムコース
	土屋 なつ穂	多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科
	濱先 沙奈	多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科
	吉田奈菜、鏡島ひらり	千葉大学 工学部 都市環境システム学科

審査員

豊口 協	長岡造形大学 前理事長
柘植 喜治	千葉大学大学院 教授
小坂 竜	乃村工藝社 A. N. D クリエイティブディレクター
万井 純	丹青社 CS 事業部 プリンシパルクリエイティブディレクター
湯澤 幸子	商業施設技術団体連合会 会長/多摩美術大学 准教授

協賛

株式会社 総合プランニングセンター	株式会社 乃村工藝社
株式会社 丹青社	株式会社 トーガシ
株式会社 つむら工芸	株式会社 シミズオクト
協同組合 日本店装チェーン	株式会社 七 彩